

問題

次の出題分野 10 題のうちから 3 題を選択すること

1. 憲 法 私人間における人権の保障に関して、私人間への適用を認める 2 つの考え方とそれぞれの問題点について、三菱樹脂事件及び日産自動車事件の最高裁判決に言及して説明せよ。
2. 行政法 行政上の強制執行の意義を述べた上で、行政上の強制執行の種類を 4 つあげ、それぞれ説明せよ。
3. 民 法 債権者代位権の意義、要件、客体、行使及び効果について説明せよ。
4. 経済学 金融政策の効果について、流動性のわなに言及しながら、IS 曲線と LM 曲線を示した図を用いて説明せよ。
5. 財政学 予算の意義を述べた上で、予算原則のうち、完全性の原則、単一性の原則及び限定性の原則について、それぞれ説明せよ。
6. 政治学 圧力団体の意義及び機能を述べ、政党との相違点を説明せよ。
7. 行政学 ^{りん}稟議制について、長所と短所に言及して説明せよ。
8. 社会学 社会的自我に関する G.H.ミード及び C.H.クーリーの理論について、それぞれ説明せよ。
9. 会計学 棚卸資産の範囲を述べた上で、棚卸資産の評価方法のうち、先入先出法、平均原価法及び売価還元法について、その特徴に言及し、それぞれ説明せよ。
10. 経営学 バーナードの組織論について、権限受容説に言及して説明せよ。